

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月9日

上場取引所 JQ

上場会社名 石光商事株式会社

コード番号 2750 URL <http://www.ishimitsu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森本 茂

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部門長 (氏名) 山根 清文

TEL 078-861-7791(代表)

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	25,273	△11.8	511	—	479	—	268	—
21年3月期第3四半期	28,656	—	△206	—	△366	—	△293	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	33.80	—
21年3月期第3四半期	△36.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	19,516	7,165	35.7	904.94
21年3月期	17,489	7,001	38.9	852.58

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 6,975百万円 21年3月期 6,812百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
22年3月期	—	0.00	—		
22年3月期 (予想)				10.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,266	△4.8	459	—	413	—	220	—	27.54

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	8,000,000株	21年3月期	8,000,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	291,600株	21年3月期	10,150株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	7,937,623株	21年3月期第3四半期	7,989,850株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の改善や緊急経済対策の効果などにより、一昨年来の景気後退から持ち直しの動きがみられるものの、雇用情勢の一層の悪化やデフレの進行など、景気は依然厳しい状況で推移しております。

当社グループの主力マーケットである食品業界におきましても、所得環境の先行き不安から低価格志向や節約志向が強まるなど、個人消費の回復は遅れており、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中で、当第3四半期連結累計期間の売上高は、取り扱い商品や取引先などの選択と集中に努めたこと、また昨年の取引先の倒産の影響などもあり、25,273百万円と前年同期比3,383百万円の減少となりました。

しかしながら、当社グループは、「食」を通じて人々とともに喜びを共有できる企業を目指し、「THE GLOBAL FOOD MERCHANDISER」を企業像として掲げ、最適産地の発掘から製造、流通、マーケティング、品質管理等の全ての工程に関わり合っ て商品の価値を高めていく、いわゆるマーチャンダイジング活動に全力を注ぎつつ、当期は特に業績の回復を最重要課題として取り組み、ロスのゼロ化、コスト削減にも最大限の努力を重ねてまいりました。

その結果、利益面につきましては、原材料価格の安定および円高の影響等による売上総利益率の改善に加え、販売費および一般管理費の節減などの効果により、営業利益は511百万円(前年同期は206百万円の営業損失)となりました。また、経常利益は479百万円(前年同期は366百万円の経常損失)、四半期純利益は268百万円(前年同期は293百万円の四半期純損失)となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間における各品目別の売上高の状況は次のとおりであります。

① コーヒー生豆

モカの原料となるエチオピア産コーヒー生豆の輸入が昨年より途絶えていることによる販売数量の減少および前連結会計年度後半からのコーヒー相場下落による販売単価の下落により、コーヒー生豆の売上高は3,054百万円(前年同期比18.6%減少)となりました。

② 飲料製品および原料

レギュラーコーヒーの売上高は飲料メーカー向け原料が増加したものの、コーヒーバッグおよび家庭用の袋入商品が減少したため、前年同期比0.1%減少しました。インスタントコーヒーの売上高は飲料メーカー向け原料が増加したため、前年同期比3.9%増加しました。茶類の売上高は、家庭用の紅茶ティーバッグが減少したため、前年同期比2.5%減少しました。その結果、飲料製品および原料の売上高は3,569百万円(前年同期比2.1%減少)となりました。

③ 常温食品

輸入商品や自社ブランド商品の売上高は農産缶詰、フルーツ缶詰およびイタリア商品(パスタ・オリーブオイル等)が減少したため、前年同期比16.7%減少しました。国内メーカー商品の売上高は中国向けの輸出が増加したものの、東南アジア向けの輸出および国内販売が減少したため、前年同期比4.8%減少しました。その結果、常温食品の売上高は7,027百万円(前年同期比7.6%減少)となりました。

④冷凍食品

輸入水産加工品の売上高は外食店向けのエビ加工品や食品メーカー向けのタコ加工品が減少したため前年同期比21.8%減少しました。輸入調理加工品の売上高は中国産製品に対する抵抗感の減少や生産国の変更等により、前年同期比41.1%増加しました。国内メーカー商品の売上高は中国および米国向けの輸出が増加したものの、東南アジア向けの輸出および国内販売が減少したため、前年同期比6.0%減少しました。その結果、冷凍食品の売上高は7,121百万円（前年同期比8.7%減少）となりました。

⑤食品原料

食品原料の売上高は小豆加工品、栗原料・栗甘露煮製品およびトマト加工品が減少したため、4,216百万円（前年同期比21.1%減少）となりました。

⑥その他

その他の売上高につきましては、283百万円（前年同期比43.7%減少）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1)資産、負債および純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が19,516百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,026百万円の増加となりました。これは主に直近の売上債権の増加によるものであります。

負債合計は12,350百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,862百万円の増加となりました。これは主に直近の仕入債務の増加によるものであります。

純資産は、当第3四半期連結累計期間が268百万円の四半期純利益となりましたが、自己株式の取得102百万円等により、前連結会計年度末に比べて163百万円増加の7,165百万円となりました。

(2)連結キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた現金および現金同等物（以下、「資金」という。）は584百万円（前年同期に比べ得られた資金は220百万円増加）となりました。

これは、主に税金等調整前四半期純利益473百万円、たな卸資産の減少額357百万円および仕入債務の増加額1,313百万円等に対し、売上債権の増加額1,759百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は94百万円（前年同期は65百万円の収入）となりました。

これは、有形固定資産の取得による支出77百万円および無形固定資産の取得による支出13百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は121百万円（前年同期に比べ得られた資金は145百万円減少）となりました。

これは、社債の発行による収入487百万円に対し、借入金の収支による支出119百万円、社債の償還による支出90百万円および自己株式の取得による支出102百万円等によるものであります。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末における資金は、前連結会計年度末に比べ610百万円増加し、2,372百万円になりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想につきましては、概ね計画通り推移しており、平成21年5月15日付にて公表いたしました業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,470,324	1,859,825
受取手形及び売掛金	7,235,652	5,464,154
商品及び製品	3,107,869	3,287,869
未着商品	395,543	562,750
仕掛品	999	8,291
原材料及び貯蔵品	52,236	48,158
その他	262,678	271,901
貸倒引当金	△144,819	△132,684
流動資産合計	13,380,483	11,370,266
固定資産		
有形固定資産	2,671,291	2,697,938
無形固定資産	165,704	183,229
投資その他の資産		
投資有価証券	2,856,085	2,812,130
その他	929,948	918,496
貸倒引当金	△511,672	△507,646
投資その他の資産合計	3,274,361	3,222,980
固定資産合計	6,111,357	6,104,149
繰延資産	24,561	15,343
資産合計	19,516,402	17,489,759
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,121,873	2,787,112
短期借入金	924,000	827,800
1年内償還予定の社債	180,000	110,000
1年内返済予定の長期借入金	1,100,444	1,074,608
未払法人税等	153,198	13,481
賞与引当金	59,506	77,110
その他	1,432,212	1,205,687
流動負債合計	7,971,235	6,095,800
固定負債		
社債	930,000	590,000
長期借入金	2,624,191	2,865,647
退職給付引当金	72,777	131,287
その他	752,618	805,359
固定負債合計	4,379,587	4,392,293
負債合計	12,350,822	10,488,094

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	623,200	623,200
資本剰余金	357,000	357,000
利益剰余金	6,234,596	5,982,292
自己株式	△107,375	△4,929
株主資本合計	7,107,420	6,957,562
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,240	△3,386
繰延ヘッジ損益	△136,987	△142,162
評価・換算差額等合計	△131,746	△145,549
少数株主持分	189,905	189,651
純資産合計	7,165,579	7,001,665
負債純資産合計	19,516,402	17,489,759

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	28,656,480	25,273,218
売上原価	25,371,284	21,862,149
売上総利益	3,285,196	3,411,069
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	487,693	26,978
報酬及び給料手当	849,203	905,880
賞与引当金繰入額	35,909	55,199
その他	2,119,305	1,911,846
販売費及び一般管理費合計	3,492,112	2,899,904
営業利益又は営業損失(△)	△206,916	511,165
営業外収益		
受取利息	9,270	4,177
受取配当金	2,789	3,352
持分法による投資利益	34,062	34,938
受取賃貸料	18,900	18,900
その他	24,491	38,858
営業外収益合計	89,513	100,226
営業外費用		
支払利息	93,899	78,603
為替差損	61,890	—
貸倒引当金繰入額	51,242	—
その他	42,286	53,466
営業外費用合計	249,317	132,069
経常利益又は経常損失(△)	△366,720	479,321
特別利益		
賞与引当金戻入額	5,653	—
特別利益合計	5,653	—
特別損失		
固定資産除却損	9,340	5,596
投資有価証券評価損	2,999	—
特別損失合計	12,340	5,596
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△373,407	473,725
法人税、住民税及び事業税	6,569	153,251
法人税等調整額	△83,634	48,151
法人税等合計	△77,065	201,403
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△3,067	4,038
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△293,274	268,283

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	9,932,885	9,069,381
売上原価	8,752,167	7,771,767
売上総利益	1,180,717	1,297,614
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	252,092	270,348
賞与引当金繰入額	35,909	55,199
その他	743,644	659,405
販売費及び一般管理費合計	1,031,646	984,953
営業利益	149,071	312,660
営業外収益		
受取利息	1,830	1,724
受取配当金	665	600
持分法による投資利益	3,713	31,027
受取賃貸料	6,300	6,300
その他	8,258	15,140
営業外収益合計	20,768	54,792
営業外費用		
支払利息	31,278	25,747
為替差損	49,673	—
その他	8,389	9,126
営業外費用合計	89,342	34,873
経常利益	80,497	332,579
特別利益		
貸倒引当金戻入額	741	6,010
特別利益合計	741	6,010
税金等調整前四半期純利益	81,238	338,590
法人税、住民税及び事業税	2,772	92,365
法人税等調整額	33,313	36,564
法人税等合計	36,086	128,930
少数株主利益	2,570	3,631
四半期純利益	42,582	206,028

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△373,407	473,725
減価償却費	110,292	147,144
貸倒引当金の増減額(△は減少)	538,479	16,042
賞与引当金の増減額(△は減少)	△66,897	△17,604
退職給付引当金の増減額(△は減少)	63,535	△58,509
受取利息及び受取配当金	△12,059	△7,529
支払利息	93,899	78,603
為替差損益(△は益)	42,871	1,679
持分法による投資損益(△は益)	△34,062	△34,938
固定資産除却損	9,340	5,596
投資有価証券評価損益(△は益)	2,999	—
売上債権の増減額(△は増加)	△1,454,469	△1,759,681
たな卸資産の増減額(△は増加)	747,877	357,374
仕入債務の増減額(△は減少)	1,015,947	1,313,730
その他の資産の増減額(△は増加)	△345,453	△9,078
その他の負債の増減額(△は減少)	122,323	160,467
その他	△4,137	△2,368
小計	457,080	664,653
利息及び配当金の受取額	13,730	8,859
利息の支払額	△93,732	△80,034
法人税等の支払額	△13,119	△14,105
法人税等の還付額	—	5,534
営業活動によるキャッシュ・フロー	363,958	584,908
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△5,005	△3
有形固定資産の取得による支出	△82,485	△77,885
無形固定資産の取得による支出	△5,270	△13,598
投資有価証券の取得による支出	△7,672	△2,794
子会社株式の取得による支出	△1,300	△800
投資有価証券の償還による収入	109,350	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	8,128
貸付けによる支出	△115,689	△5,450
貸付金の回収による収入	150,899	5,404
その他の支出	△19,138	△9,820
その他の収入	41,547	2,303
投資活動によるキャッシュ・フロー	65,236	△94,517

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,838,000	204,000
短期借入金の返済による支出	△1,306,800	△107,800
長期借入れによる収入	125,000	535,000
長期借入金の返済による支出	△791,122	△750,620
社債の発行による収入	487,210	487,208
社債の償還による支出	—	△90,000
リース債務の返済による支出	—	△35,101
自己株式の取得による支出	—	△102,446
配当金の支払額	△79,785	△16,219
少数株主への配当金の支払額	△5,656	△2,236
財務活動によるキャッシュ・フロー	266,845	121,784
現金及び現金同等物に係る換算差額	△52,031	△1,679
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	644,009	610,495
現金及び現金同等物の期首残高	1,487,272	1,762,351
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,131,281	2,372,847

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1 事業の種類別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)および当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

当社グループは同一セグメントに属する食品等の製造、加工、販売を行っており、該当事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

2 所在地別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)および当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社および在外支店がないため該当事項はありません。

3 海外売上高

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)および当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

海外売上高は連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、会社法第459条第1項及び当社定款の定めに基づき、当第3四半期連結会計期間において自己株式を取得しております。この取得等により、自己株式が前連結会計年度に比し102,446千円(281,450株)増加しております。

6. その他の情報

生産、受注および販売の状況

当社グループ(当社および連結子会社)は単一セグメントに該当するため、品目別に生産、受注および販売の状況を記載しております。

(1) 生産実績および受注状況

当社グループのうち連結子会社において飲料製品(レギュラーコーヒー)の生産を行っておりますが、グループ事業全体における重要性が低いため、生産実績および受注状況については記載しておりません。

(2) 商品仕入実績

当第3四半期累計期間における仕入実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別	金額(千円)	前年同四半期比(%)
コーヒー生豆	2,708,223	77.46
飲料製品および原料	2,142,238	94.58
常温食品	6,108,232	91.90
冷凍食品	6,415,574	95.19
食品原料	3,762,472	77.43
その他	245,849	57.66
合計	21,382,591	87.52

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 上記のコーヒー生豆の金額には、飲料製品および原料の製品を連結子会社2社で生産するために使用する原料分を含んでおります。

(3) 販売実績

当第3四半期累計期間における販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別	金額(千円)	前年同四半期比(%)
コーヒー生豆	3,054,806	81.39
飲料製品および原料	3,569,166	97.90
常温食品	7,027,760	92.36
冷凍食品	7,121,499	91.29
食品原料	4,216,241	78.89
その他	283,743	56.35
合計	25,273,218	88.19

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。